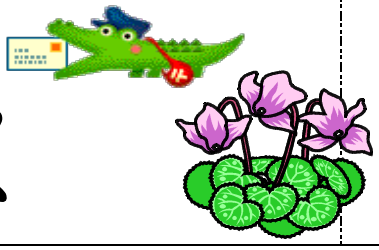
みなとのたより

らしく



湊小学校通信
R．４．１０．２８
NO.7
文責：音喜多・権代

継続は力なり　～湊の子を育てる取組～

１０月２２日（土）に今年度のポプラ祭りが行われました。３年ぶりに夜の部を実施できました。当日は来賓や保護者の皆様においでいただき、心よりお礼申し上げます。また、新型コロナウィルス感染予防を考慮し、２部形式での実施、２学年ごとの観覧の皆様の入替制で開催することとしました。皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。今後も学校行事を通して子どもがめあてをもち、達成のためにがんばることを通して湊の子の育成につとめてまいります。子どものがんばりに皆様の変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。

２学期の重点目標の１つに「努力を続ける」を掲げて取り組んでいます。
「継続は力なり」は、「わずかなことでも、続けて行えば成果となってあらわれる。小さな努力も、続けてやれば成功する」いう意味で、座右の銘にもよく取り上げられます。これに類似したものを探すと結構あります。

・千里の道も一歩より　　・塵も積もれば山となる
・雨垂れ石を穿つ(あまだれいしをうがつ)
・点滴石を穿つ(てんてきいしをうがつ)
・ローマは一日にして成らず

など、日本に限らず、いろいろなところで昔から使われているのには、やはりこの継続することには大きな力があるからだと思います。努力を継続することによって、いろいろな効果が考えられます。

続けることで、できるようになることが楽しい→続けることが楽しくなる
→やる気や自信がわいてくる→粘り強く物事に取り組めるようになる　という、プラスの連鎖につながっていきます。また、その努力や成果は、自分に対する周囲の信頼や見方が好転するきっかけにも及んできます。

しかし、「今日は休みたい」「さぼりたい」「ゲーム優先」など、毎日続けるためには心の中の葛藤があり、大人でも継続して取り組むことの難しさを感じる人は少なくないと思います。学校では、子どもたちが勉強や運動などに目標をもち、前向きに取り組むための仕掛けや環境づくり、努力への認めや称賛、励ましなどを織り交ぜながら取り組んでいます。以下に継続するために考えられるコツをいくつか挙げてみました。ご家庭においても、子どもたちに働きかけてみてください。あきらめずに一歩ずつ進める湊の子の育成を進めてまいりましょう。

・目標をもつ。（なりたい自分、やってみたいこと）
・継続することを決める。
・できること、無理のない内容から始める。
・自分で記録をつける。
・努力を認め、褒めて自信を持たせる。
・友達、家の人など一緒に励む仲間がいること。
・継続内容を徐々に上げてみる。

☆１１月のマラソン大会に向け、全校でポプラマラソンをがんばっています。２００周、３００周、４００周、５００周を達成ごとにいろいろな先生からシールをもらうことを励みにして走っています。放送でもがんばっている子を紹介しています。ご家庭でも励ましの声をお願いします。

☆朝の街頭指導のご協力をお願いします。～先日、Ｊアラートが発令されました。私は、三富産業前横断歩道で街頭指導をしていましたが、踏切が閉鎖され子どもたちが立ち往生。急遽、子どもたちを連れて陸奥湊駅を通り学校に向かいましたが、歩行者すれすれを車が走る通りで歩行の安全を見ながら、なんとか学校に到着しました。幸い当日は、防犯指導隊の方々の当番だったため、シルエット付近の安全は確保でき、ありがたさを痛感しました。今後も、Ｊアラート発令など登校時の子どもたちへの危険が及ぶことも考えられます。安全確保のため、月、水、木、金曜日の街頭指導へのご協力をお願いします。都合の悪い方は、事前に声をかけ代理を立ててくださると幸いです。